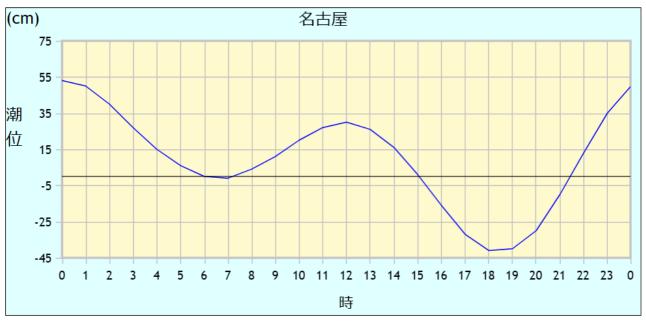


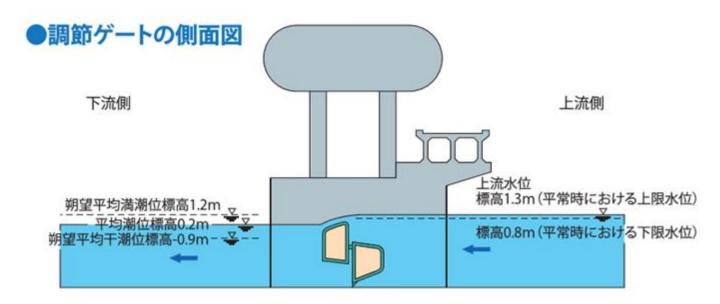
毎時潮位グラフ 名古屋 2023年5月28日の潮位予測

前期間

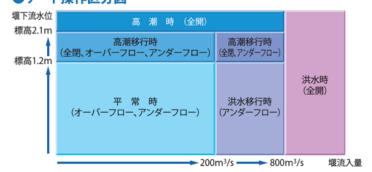


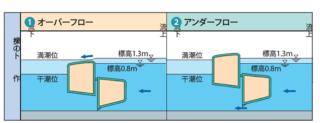
注意

- ・ グラフの縦軸は潮位、横軸は時刻を示しています。
- 潮位は標高(単位:センチ)で表示しています。



●ゲート操作区分図





ヨシ原のようす

木曽川

午後、風が吹き出す予報だったため 船による観察が午前に変更。水辺観 察は、満潮に近い午後となったた め、水辺の植物は十分観察できなか ったが、土中のイトメは観察でき た。



長良川

採取力二総数 3

クロベンケイガニ雌 2 クロベンケイガニ雄 1

2020,2022 年は、0 でした。今回採取できた 3 匹の 15 mm程度のカニは、揖斐川から背割り堤道路を横断できたものか?採取した Y 君 (10 歳)の執念はすごい!



揖斐川

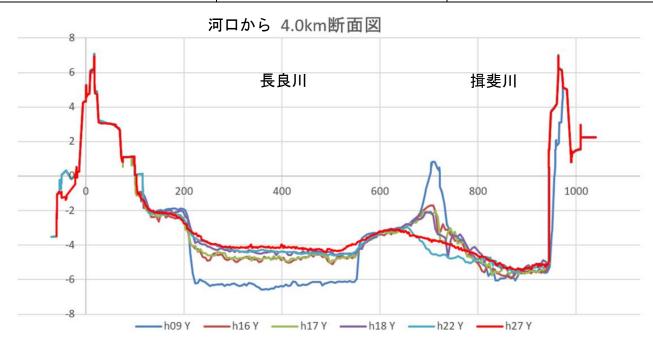
採取力二総数 88

クロベンケイガニ雌 7 クロベンケイガニ雄 13 ベンケイガニ雌 38

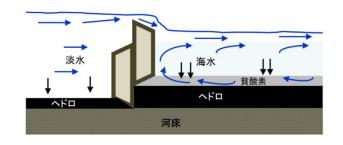
ベンケイガニ雄 30

オオヨシキリの鳴き声も聞こえた。





河口堰のゲートが閉鎖され



河口堰が運用され、水深6mまで浚渫された川底には厚さ約2mのヘドロの堆積は変わりませんでした。

酸化還元電位もマイナスで還元状態。酸素を必要とする生きものは生存できません。硫化水素が噴出する穴も見られました。

川底のようす (河口から約4km)

AM10:30	揖斐川	長良川
(潮位 TP 約 0.15m)		
水深 m	3. 0	4. 1
水温: ℃	20. 6	20. 6
	砂	
	船A	ヘドロ(硫化水素不出穴あり) 船B
	船A	AAA
酸化還元電位(ORP):mv	+168	-281

ヨシ原のようす 1994年 15.4 ha 2002年 0.7 ha (残存率 4.5 %) 堰建設前広大に広がったヨシ原は、水没・孤立。 人工島 (オレンジ部) は、オギが繁茂・樹木林に。 アロセ カロセ カロセ